

【1981年2月5日】雇用にかかる給付金等の整備充実を図るための関係法律の整備に関する法律案について（第5次改正）  
社会保障制度審議会（総会第362回）

昭和56年2月5日

労働大臣 藤尾正行殿

社会保障制度審議会  
会長 大河内一男

雇用に係る給付金等の整備充実を図るための関係法律の整備に関する法律案について(答申)

昭和56年1月28日労働省発職第15号で諮問のあった標記の件について、本審議会の意見は下記のとおりである。

今回の雇用保険法等の改正案は、複雑多岐にわたる雇用関係各種給付金を整理統合し充実したものとして了承する。

なお、一昨年秋の本審議会の建議で指摘したように、高齢化社会の進展に伴い、60歳代前半層の雇用、生活の実態が更に多様の度を加えるので、雇用政策と年金政策との連携接続の問題は、今後ますます重要性を増すことを銘記されたい。